

第2回東栄町庁舎建設等検討委員会 議事録要旨

1、日 時 平成24年11月9日（金）午後1時30分～午後3時04分

2、場 所 東栄グリーンハウス 研修室

3、出席者 計26名

委員23名

柴田吉夫、平賀英俊、伊藤久代、初澤宣亮、片桐邑司、桂木勇、熊谷廉太郎、西尾重光、鈴田勝美、一野瀬忠義、亀山隆、石田雄吉、井筒睦治、伊藤静男、山本保、佐々木経人、藤原隆、佐々木徹、鈴木義治、金指旦夫、渡邊忠司、伊藤公子、夏目章子、

事務局 3名

副町長 村上孝治、総務課 課長 山本茂夫、行政係長 亀山和正

4、欠席者 7名

尾林良隆、原哲士、金澤みゆき、黒柳孝夫 森一人、三崎順一、西谷まゆみ
(敬称略)

5、議 題

(1) 現庁舎の良い点悪い点について

(2) 候補地の選定について

委員長 現庁舎の良い点悪い点について事務局より説明をお願いします。

(現庁舎の良い点悪い点について事務局より説明)

委員長 ご意見、ご質問はないか

委員 作業部会の意見では、現庁舎の改築改修に当らず、候補地からはずすことよろしいか。

事務局 ご質問のとおり。耐震性の欠如。災害の観点からみた庁舎の課題でいくと、耐震性が無く災害の指揮系統ができない。施設設備が老朽化し、修繕は多々やってきている。住民サービスは分庁舎方式であり国道をはさんでいるので、施設間の移動が必要。ワンストップサービスが望まれる。駐車場スペースでは、役場前のスペースは手狭まであり、旧東中駐車場から階段を使うと不便をかける。事務効率が上がらない。急速に情報化が進み、電源、ラン配線が床の上にむき出し状態。暖房施設を見てもダクトが庁舎内に出ている状況。書庫、会議室は不足しており、選挙期日前投票の関係もあり、事務効率が悪い。ユニバーサルデザイン、障害者高齢者は不便。障害者の方についてはバス待合所を利用させていただいており、2階への階段は急こう配である。全ての部分で作業部会、内部検討委員会では現庁舎は無理という結論に達した。

委員長 確認したいこと、現庁舎は不適切である、庁舎は使用しない、現状の位置では使用しない事でありますので皆様方に念を押ししたい。(意義なし)

委員長 庁舎の規模、機能の検討課題の中に入っているが、いきなり候補地の選定は先走りすぎてはいないかと事務局にお話ししましたところ見解が違ふとのことでありますので説明をお願いします

事務局 前回の委員会で説明いたしました庁舎等建設基本方針の概要の中にありますように、既存の公共施設の活用を検討させていただいた。新設の場所を求めたのではない。庁舎の規模では、将来の職員定数の適正化計画で最大で現在の68人。組織の配置のあり方、既存の課、室を基本にして検討していきたい。遊休施設、公共施設の活用を検討していきたいので、あくまで今の段階で新築でない。

委員 遊休施設の候補は同じ案件ばかりで本郷校舎の管理棟、東栄小学校、産業会館においてもコンクリートの中性化が必ず起こるので、そこを候補地とするのは問題がある。本郷校舎の跡地は良いが、将来の東海大震災の災害対策の本部にするのは新築。東栄小学校みたいに、将来、壁は造ったが床は崩れるかもしれない。

事務局 既存の施設、鉄筋コンクリートであれば中性化はある。候補地となれば、中性化のコア抜きを行い、何年もつか検査しなければならない。12月補正で予算要求しているので、その結果を受けて慎重に進めていきたい。

委員長 候補地の選定について事務局より説明をお願いします。

(候補地の選定について事務局より説明)

委員 作業部会の中で第2、第3候補は無かったか。

事務局 作業部会の中では第2、第3候補は無く、評価点の高い本郷校舎に絞り込んだ。

委員 東栄小、産業会館の建築年は何年か。評価において産業会館は駐車場のスペースがない。東栄小はバスの乗り入れが悪い。本郷校舎よりも現東栄小は耐震補強しているので候補地として上げて良いのではないか。

委員長 作業部会、庁内検討委員会での意見である。即決定ではない。意見をいただき検討する。

委員 駐車場のスペースは、職員の分を含めた100台の根拠は。

事務局 平地で100台目安。内訳は、公用車15台、職員分60台、残り来客含め25台。

委員 東栄小に100台とめれるか。

事務局 閉校後であるので、グラウンドには概ね入れる。

委員 良い点もあるが、日当たり、静かな場所、意味合いの項目から抜けてる、本郷校舎は静かな場所か。交通アクセスも含めて、乗り入れも考え問題がないが、日当たり、

静かな場所を考えるとニュアンスが変わる。

事務局 東栄小は道路事情の問題が上がる。産業会館は道路事情の問題、また借地でもある。質問のありました、産業会館は昭和 47 年、東栄小は昭和 36 年に建築です。

委員 新築でなく、公共施設を利用していきたい。庁舎は借地へ建てるべきでない。事業費を考慮しておるのか。新築よりも安く済む。職員 68 名で、現行の課と室を基準に考える。東栄小は 3 階建てで、使い勝手悪い。旧東中は建物がなく、駐車場で借地。産業会館では職員 68 人を配して稼働できるか。町長も言っていた、役場という行政と外郭団体である社協、複合して入れて、役場の拠点にしたいという事から考えると、東栄小、旧東中跡地、産業会館も候補地にすることすら無理。作業部会の根拠は。前段の基本になる部分のすりあわせを終えての結果か。

事務局 作業部会では、町有地、施設、全部を拾いだし、全体的なもので拾い出した。

委員 役場を作る根底が変わってくる。借地でも良いとなれば貸してくれるか、大きなハードルを越えないといけない。財政状況からみて新築が可能か不可能か、複合でできるものであれば安価の形で、基本的な考え方がないと、どこでも良い、安いではない。

委員 町有地に建てるのが経済的フラットな考え方。どこへ建てるのか一番良い所。所有者から承諾が得られない。町有地以外経済的に無理かを合意した上で進めたらどうか。

委員 あくまで町職員が考えた事であり、たたき台である。議論が前に進むように、これからどうつめて行くのか、違う部分に行くべきか、前向きに意見をまとめて行く様にしたい。前に進むのが遅れてしまう。本郷校舎で提案したい。これありきでなく、役場の会議、大事な話し合いがもたれる。小学校運動場横が良いのか。解決方法があればここで良いのではないか。ないとなればまずい。

委員 庁舎を建てるのには、役場に前提条件があるはず。できるかぎり町有地、安価であり、既存の建物をリニューアルしてでも使えるものがあれば基本的なベースになる。作業部会では前提条件をはずれて、旧東中は新築しか考えられない。全ての前提をクリアしている本郷校舎であればわかるが、すりあわせをされたのか。

事務局 旧東中は消すべきであり、誤解を招いた。本郷校舎を絞り込み、次回には4階までの平面図に窓口、防災対策本部がとれるか、事務機能、会議機能の配置をやり、外郭団体を含めれるのか検討する。既存施設を考え、ワンストップサービスができるのか、駐車場が取れるのか、騒音など。段階を踏み、財政の問題も考え、規模が出来てこれば新築という事も出てくる。

委員長 既存公共施設の活用を検討せよとの事。更地で新築はありえない。御理解をいただく。

事務局 今の段階です。公共施設のシュミレーションを出し、財政的問題も出る。新築はそうなった段階になった時に検討。

委員長 新築は根底が崩れる。土地の問題も出てくる。

事務局 既存施設はここしかない。新庁舎が本郷校舎か、町有地の中でできるのか検討。

委員 中性化で耐えられない場合でも、建設位置は変わらないか。

事務局 堪えられない場合、改修無理。取り壊しを含め新築できるか、空いている敷地でできるか検討したい。

委員長 結果が出ないと前へ進まない。

事務局 配置、機能についてはできるので役場、防災、使えるかどうか検討したい。

委員 これから問題を調べる。仮定の話をしてもしょうがない。出来たものにこだわっても前に進まない。

委員長 場所がどこか検討、作業部会、検討委員会で検討していただく。

委員 本郷校舎を活用しては悪い点を解決できるのか、悪い条件を克服できるのか資料を作してほしい。

委員長 既存の公共施設の活用が大前提で、財政的な問題があるからお金がかからない方法を考える、町有地であるかないか。その事を大前提で考えていただく。作業部会で前提にして考えて行くが、だめなら再度検討していく。

委員 基本線のもとで確認されていなかったかもしれないが、手を入れてどういうふうに使っていくか。校舎では足りないとなれば議場を新築するとか、前に進めて行った方が良い。

委員長 公共施設の利用。お金があまりかからない方法。町有地である。3つを前提にしてよろしいか。

事務局 今回の内容をまとめて部会で精査して作業をすすめていきます。

(庁舎の耐震診断について事務局より説明)

委員長 庁舎として活用する規模を落とし込んで検討いただく。

委員 テレビで地震のテロップが出ないのはありがたい。庁舎、災害に強い庁舎を大前提に検討していただきたい。

委員長 資料を前もって送付してほしい。

課長 前もって資料を配布したい。

委員長 全員の方にご発言をお願いしたい。